

平成16年度海水浴場等の水質調査結果について

平成16年6月29日
生活環境部環境対策課

海水浴シーズンを前に、県民の健全なレクリエーションの場の水質判定をするため、県内の海水浴場等の水質調査を実施しました。調査結果は、次のとおりです。

<結果の概要>

- ・ 県内の海水浴場（19ヶ所）は、国が定めた水質判定基準によると、すべてが海水浴場の水質に適合していた。
- ・ 水質保全の観点から、上記海水浴場及び主要な湖沼（5ヶ所）において、腸管出血性大腸菌O157の検査を実施したところ、すべて不検出であった。

1 調査対象（「調査地点図」参照）

- (1) 海水浴場の水質
19海水浴場（海水浴場開設期間中の利用者数が過去の実績でおおむね1万人以上の海水浴場）
- (2) 腸管出血性大腸菌O157
上記の19海水浴場及び5湖沼（レクリエーション等で県民が利用する機会の多い湖沼）

2 調査期間

5月12日（水）～5月27日（木）

3 調査方法

晴天の日を選び、おおむね水深1～1.5mの地点において、表層から0.5mの海水を1日2回（午前10時頃及び午後2時頃）2日採水した。

なお、腸管出血性大腸菌O157については、各海水浴場及び湖沼についてそれぞれ1回採水した。

4 調査項目

ふん便性大腸菌群数，油膜の有無，化学的酸素要求量（COD），透明度，水素イオン濃度（pH），腸管出血性大腸菌O157

5 調査実施機関

茨城県（測定分析業者に委託）

6 水質調査結果

- (1) 海水浴場の水質調査（表1参照）
国が定めた水質判定基準（表2参照）によると、すべての海水浴場が海水浴場としての水質に適合していた。
「水質AA」9ヶ所，「水質A」10ヶ所
昨年度調査結果との比較（表3参照）
昨年度の調査結果は，「水質AA」6ヶ所，「水質A」13ヶ所
- (2) 腸管出血性大腸菌O157調査（表4参照）
19の海水浴場及び主要な5湖沼（霞ヶ浦，北浦，常陸利根川，澗沼，牛久沼）においてすべて不検出であった。

7 その他

- ・ 海水浴場の水質調査は、開設期間中に再度実施を予定している。（7月下旬～8月上旬）
- ・ 伊師浜，川原子，波崎の3海水浴場については、特に水質が良好で快適な水浴場として、環境省の「日本の水浴場88選」に選定されている。（平成13年3月）